

栃木放送平成 26 年度第 9 回 2 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 27 年 2 月 13 日（木）午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 7 名

欠席委員 2 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	小 島 俊 一
	委 員	岩 村 由 紀 乃
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	中 里 勝 夫
	委 員	大 坪 靖 夫
	委 員	高 橋 幸 裕
局側出席者氏名	代表取締役社長	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也

4 議 題

(1) 「第 56 回栃木県郡市町対抗駅伝実況中継」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「第 56 回栃木県郡市町対抗駅伝実況中継」について

試聴番組：平成 27 年 1 月 25 日（日）放送

「第 56 回栃木県郡市町対抗駅伝実況中継」を予め試聴

議題説明：報道制作局長 高瀬一也が番組概要について説明。

次に審議に入る。

各委員からは、

- 先頭争いよりは、タスキ渡しに重点を置いた放送のような気がした。もっと先頭争いの様子が知りたかった。
 - 音声较去年よりよくなり、聴きやすかった。臨場感に欠けたような気がする。とちぎテレビと一緒にやってよかったのではないか。
 - リポーターも落ち着いていたと思う。順位は伝えていたが、3位くらいまではタイム差を言ってほしかった。
 - 開会式はきちんと聴きたかった。セレモニーなので、ちゃんと放送したほうがよかったのではないか。
 - 聴きやすく、違和感がなかった。実況アナウンサーは丁寧な言葉が多いと思った。もっと現場にいるような感じが欲しかった。
 - 女性リポーターが落ち着いていてラジオ向きの喋りだった。実況の「エー」は「A」チームと勘違いして気になった。距離感を出すためにも、タイム差や距離をもっと言ったほうがいい。
 - ラジオだと距離感がわかりにくい。区間のどこを走っているのか伝える工夫を。
 - 駅伝は地域を強く意識する。県域放送として実況中継を続けてほしい。
 - 選手の表情や空気感をつたえるために、バイクリポートをもっと活用したほうがいい。
などの意見が出された。
- 当社としては今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成 26 年度第 10 回 3 月期の審議会を 3 月 12 日（木）に開催することを決めて閉会した。